

■荷田春満 国学者。赤穂浪士の復仇の支えをなした後、多くの門人を育て、幕府とも間接的に学問上の交渉をした。

かだのあずままる

ジャクシャインの乱 1669＝ 京都で、_伏見稲荷祠官荷田信詮の次男に生まれる。

藤十郎登場・1678＝9歳：

徳川綱吉將軍1680＝11歳：

堀田正俊暗殺1684＝15歳：

生類憐令始・1687＝18歳：

生類憐令頂点1695＝26歳：

荻原勘定奉行1696＝27歳：

・・・・・・1697＝28歳：_靈元天皇の皇子妙法院宮に仕官。

・・・・・・1700＝31歳：*江戸に下り、家伝の「後陽成院勅点古今集」をもって宣伝、歌会を開くなど門生を教授。

赤穂浪士討入1702＝33歳：_赤穂浪士の復仇に協力、その成功の因となる。

御蔭参流行・1705＝36歳：この頃から、*「万葉集」の講義も開始。
神代紀等の古典、稲荷神道祝詞、神事儀式などの講義のほか、

徳川綱吉没・1709＝40歳：

和漢三才図会1713＝44歳：一旦帰郷、同年*再び出府、越後国長岡藩主牧野駿河守より扶持を受け、
絵島事件・・・・1714＝45歳：翌年にかけて浜松に滞在し、帰郷。

徳川吉宗將軍1716＝47歳：

・・・・・・1722＝53歳：_3度目の出府、幕臣下田幸太夫(師古)らと「令」について問答、幕府所蔵の和本の鑑定にも従事。

火の見櫓制・1723＝54歳：最後の帰郷、
その後も師古らを介して書籍の書写進上、質疑応答、和解注釈など学問上の交渉が続く、

懐徳堂公認・1726＝57歳：_中風にかかり活動も鈍化するが、養子の在満が協力、

徂徠没・・・・1728＝59歳：_在満を後継者として出府させ、

享保大飢饉・1732＝63歳：

・・・・・・1733＝64歳：_入門してきた賀茂真淵が、春満の学を継承発展させるのをみながら、

悪鋳再開・・・・1736＝67歳：_没した。

門人には他に弟信名・甥信舎・杉浦国頭・森暉昌・芝崎好高らが名高い。国学四大人の一人。